

授業科目 精神科リハビリテーション学

【担当教員名】 酒井 昭平		対象学年	3	対象学科	社会（精神保健福祉コース必修）
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	4	時間数	60
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎		◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 精神保健福祉士は精神科リハビリテーション領域の有力な一翼を担っている。 精神科リハビリテーションの歴史・概念、範囲、構成各要素、実践の過程・観点・技術、関連とその連携、それらにおける精神保健福祉士の役割を学ぶ。					
【学習目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神科リハビリテーションの概念（歴史、理念、意義、基本原則、現状）の修得 2. 精神科リハビリテーションの構成（対象、精神保健福祉士の役割、連携、施設など）の修得 3. 精神科リハビリテーションのプロセス（計画、アプローチ方法など）の修得 4. 医療機関におけるリハビリテーション（作業療法、レクリエーション療法、集団精神療法、認知行動療法と社会生活技能訓練、家族教育プログラム、デイケア、ナイトケアなど）の修得 5. 精神保健福祉士が行うリハビリテーション（医学的リハビリテーションへのかかわりと社会的リハビリテーション）の修得 6. 精神科リハビリテーションの総合化（地域リハビリテーション、職業リハビリテーションなど）の修得 7. 精神保健施策の展開について 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション／障害者リハビリテーションの概念				オリエンテーション／講義
2	精神科リハビリテーションの概念 1				講義
3	精神科リハビリテーションの概念 2				講義
4	精神科リハビリテーションの構成 1				講義
5	精神科リハビリテーションの構成 2				講義
6	精神科リハビリテーションのプロセス 1				講義
7	精神科リハビリテーションのプロセス 2				講義
8	医療機関におけるリハビリテーション 1				講義
9	医療機関におけるリハビリテーション 2				講義
10	医療機関におけるリハビリテーション 3				講義
11	精神保健福祉士が行うリハビリテーション 1				講義
12	精神保健福祉士が行うリハビリテーション 2				講義
13	精神科リハビリテーションの統合化 1				講義
14	精神科リハビリテーションの統合化 2／精神保健福祉施策の展開 1				講義
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・精神保健福祉士養成講座 精神科リハビリテーション学	日本精神保健福祉士養成校協会編	中央法規	2009・2,700円・(発行 2009年1月)
参考書		特になし			
その他の資料		適宜配布			
【評価方法】 出席状況、レポート、期末試験			【履修上の留意点】 ビデオ学習 演習、レポート提出を適宜とり入れる		